

山口県立山口高等学校  
創立150周年記念式典

# 高



日時：令和3年11月20日（土）午前9時30分

会場：山口市民会館・山口高等学校

# 山口県立山口高等学校 創立150周年記念式典出席者

順不同・敬称略

区分	所属・役職等	氏名
山口県関係	山口県知事	村岡 副政
	山口県議会議員（議長代理）	吉田 充宏
	山口県議会議員	合志 栄一
	山口県議会議員	藤生 通陽
	山口県議会議員	俵田 祐児
	山口県議会議員	小田村克彦
	山口県教育委員会 教育長	繁吉 健志
	山口県教育庁高校教育課長	国清 賢一
山口市関係	山口市長	伊藤 和貴
	山口市教育委員会教育長	藤本 孝治
大学	山口大学学長	岡 正朗
	山口県立大学学長	加登田恵子
高校・特別支援学校	山口県立防府高等学校長	小土井 実
	山口県立防府西高等学校長	大田 真一
	山口県立山口中央高等学校長	大村 勇
	山口県立西京高等学校長	原井 進
	山口県立山口総合支援学校長	河合 良房
	野田学園高等学校副校長	清水 利宏
中学校	山口市立鴻南中学校長	田中 敬
	山口市立秋穂中学校長	鶴永 幸彦
学校運営協議会委員	山口大学大学院医学系研究科講師	近藤 智子
	山口高等学校同窓会常任理事	長崎 孝司
	全日制PTA会長	西 隆之
全日制PTA役員	副会長	渡邊 一正
	副会長	角川 早苗
	監事	重本美穂子
	監事	榎崎 恵
	部長	神池 裕美
	部長	山本 庸子
	幹事	山本 康弘
	幹事	山本 悦子
	幹事	新山 晃規
	顧問	小篠 るみ
定時制教育後援会	副会長	川口 裕之
記念事業実行委員		原田 尚

区分	所属・役職等	氏名
同窓会役員	会長	二井 関成
	副会長	末永 汎本
	副会長	岸 孝徳
	副会長	川元 龍治
	副会長	山本 伸雄
	副会長	橋本 憲二
	副会長	今村 孝子
	副会長	瀬川 英顕
	副会長(支部長兼任)代理	渡邊 史信
	副会長(支部長兼任)	松原 武夫
	副会長(支部長兼任)	太田 政哲
	副会長(支部長兼任)	河村 明英
	副会長(支部長兼任)	松崎 恒雄
	副会長(支部長兼任)	藤本 孝夫
寄附者		木原 寛
		今村 啓志
		砂川 敏男
		末永 弘子
		河野 康志
		末永 久大
	株式会社技工団	松田 圭二
	萩山口信用金庫	藤本 敦
	山口マツダ株式会社	大原 敏之
	歴代校長 (平成以降)	29代校長
30代校長		倉増 誠彦
33代校長		田邊 恒美
34代校長		川野あきら
37代校長		高原 透
38代校長		栗林 正和
旧職員 (本校・分校)		山口県立熊毛北高等学校長
	山口県立厚狭高等学校長	大下康一郎
	山口県立長府高等学校長	藤本 茂
	山口県立宇部高等学校教頭	古川 智也
	山口県立華陵高等学校教諭	白石 義徳
	山口県立新南陽高等学校教諭	岩崎 洋
	山口県立防府高等学校教諭	中司 文男
	山口県立長府高等学校教諭	柴田 稔
	山口県立長府高等学校教諭	中牟田佳子
	山口県立萩高等学校教諭	高山 幸子
	山口県文書館館長	吹屋 哲夫
モニュメント作者		田辺 武

# 記念式典 式次第

- 1 開式のことば
- 2 国歌演奏
- 3 校長式辞
- 4 山口県知事あいさつ
- 5 山口県教育委員会教育長あいさつ
- 6 来賓祝辞  
山口県議会議長  
山口市長  
来賓紹介、祝電・祝文披露
- 7 生徒代表のことば
- 8 校歌演奏
- 9 閉式のことば

山口高等学校 校歌

作詞 清川 妙  
作曲 石井 洋之助

一、鴻の峯 邃きみどりを

あさゆふに 窓にあふぎて

ふるき代の 雅びのまちの

栄荷ふ われらが学舎

あ、山高 矜はたかく

享け継ぎて けふも励まむ

二、榎野川 澄みし流れの

永遠なれや 韻もあらた

眉あげて わかき望を

謳はまし われらが学舎

あ、山高 いのち明るく

この日々の あゆみ愛しまむ

三、一生かけ 築かむ夢の

そのゆくて 照らせる灯とも

すさぶ世の 風のさなかに

まもりなむ われらが学舎

あ、山高 勁き願ひに

ひらきゆく 明日を恃まむ

# 記念行事

---

## 【記念演奏】 10：40～

山口県立山口高等学校管弦楽部・合唱部

愛の挨拶

エドワード・エルガー作曲

交響詩「フィンランディア」

ジャン・シベリウス作曲

## 【記念講演】 11：20～

演 題 未来志向のつくり方

～人生100年キャリアを生き抜くために～

講 師 株式会社第一生命経済研究所経済調査部

首席エコノミスト 熊野 英生 氏（普通科92期）

略 歴 1986年 山口県立山口高等学校卒業  
1990年 横浜国立大学経済学部卒業  
1990年 日本銀行入行  
同行調査統計局、情報サービス局勤務  
2000年 第一生命経済研究所入社  
2011年 首席エコノミスト就任  
2014年 日本FP協会理事就任  
2015年 山口県産業戦略アドバイザー兼任

## 【パネルディスカッション】 12：15～

テーマ 山口高校は、今後どのような学校をめざすべきか

山口県立山口高等学校

創立150周年記念事業

記念館改修工事竣工披露

・記念モニュメント除幕

高



日時：令和3年11月20日（土）午後2時30分

会場：山口高等学校 記念館

## 次第

---

- 1 開式のことば
- 2 校長挨拶
- 3 同窓会長祝辞
- 4 記念館改修工事説明
- 5 記念モニュメント除幕
- 6 記念モニュメント制作者挨拶
- 7 閉式のことば

### ○ 記念撮影・記念館見学

### 【参考】 記念館の歴史

山口高等学校記念館は、大正11年（1922年）に旧制山口高等学校（山口大学文理学部の前身）の講堂として建築されました。昭和29年（1954年）、山口大学文理学部と校地を交換した際、新制山口高等学校の所有となっています。

建物は、大正7年（1918年）に制定された高等学校令に基づき、文部省が全国各地に建てた旧制高校に共通する様式です。木造2階建、銅板葺、玄関の円柱と角柱を組み合わせたポーチや左右対称に配置された塔屋等、意匠的な配慮が払われています。内部は漆喰壁と木造の装飾を基調とし、バルコニー手摺りの幾何学的装飾や正面ステージを飾る列柱等が印象的です。

昭和42年（1967年）からの校舎全面改築時に、他の旧制山口高等学校時代の校舎が解体される中、幾多の先輩たちの魂の故郷であるばかりでなく、建築史的にも貴重な存在であることから、「記念館」という名称のもとに移転・保存されることとなり昭和46年（1971年）に竣工、移築当時は小体育館として利用されていました。

平成11年8月に造形の規範となる建物として、登録有形文化財に登録され現在は、管弦楽部の活動等、在校生の教育活動の場として活用されています。

【参考】 記念モニュメント



振り返れば未来

題名：Locus of Times —150—（時の軌跡 —150—）

作者：彫刻家 田辺 武

## 創立150周年記念事業の概要

---

- 記念式典、記念講演、ホームカミングデーの実施
- 記念誌・記念DVDの作製
- 記念館の改修・記念モニュメントの制作
- 記念事業寄附金の募集

寄附金総額 82,143,205 円

(募金目標額 75,000,000 円)

## 感謝状贈呈寄附者

---

阿 武 義 人 様	今 村 啓 志 様
河 野 康 志 様	川 元 龍 治 様
木 原 寛 様	齋 藤 宗 房 様
末 永 汎 本 様	末 永 弘 子 様
末 永 久 大 様	砂 川 敏 男 様
都 野 治 男 様	二 井 関 成 様
橋 本 憲 二 様	八 木 重 二 郎 様

株 式 会 社 山 口 銀 行 様

株式会社山口フィナンシャルグループ社員有志 様

株 式 会 社 技 工 団 様

萩 山 口 信 用 金 庫 様

ホ テ ル ニ ュ ー タ ナ カ 様

山 口 マ ツ ダ 株 式 会 社 様

(100 万円以上)

# 山口県立山口高等学校

150周年記念

高



# 山口高校の沿革

0年

50年

萩明倫館(1719創建)で学問を修めた上田鳳陽が、山口に帰り創設

藩府の山口移転に伴い、藩の学事を中心となる

新政府による学制改革の流れを受け、山口中学と改める

明治24年(1891)の中学校令改正を受け、六年制の中学校となる

明治32年の中学校令改正により、校名から「尋常」が外れる

**山口講堂**  
(文化12年1815)

**山口明倫館**  
(文久3年1862)

**山口中学**  
(明治3年1870)

**山口県尋常中学校**  
(明治28年1895)

**山口県山口中学校**  
(明治34年1901)

**山口県立山口高等学校**  
(一高) (昭和23年1948)

山口市内における商業学校の設立要望が強まり、昭和11年に設立された

**私立山口商業学校**  
(昭和11年1936)

太平洋戦争下の政策により、商業学校は技術系学校への転換が求められ併設された

**山口県立山口商業学校**  
(昭和19年1944)

GHQによる教育の民主化により、軍国主義的色彩を排除するため、工業学校が廃止された

**通信教育部設置**

**山口県立山口工業学校**  
(昭和19年1944)

**山口県立山口第二中学校**  
(昭和21年1946)

**山口県立山口第二高等学校**  
(昭和23年1948)

## 山高100年史

### 1. 天下の山中

明治3年(1870)～



旧山口中学校正門(大正時代)



山中の徽章(校章)



応援団の繰り出し(大正末期)



全国大会優勝時の柔道部(昭和7年)

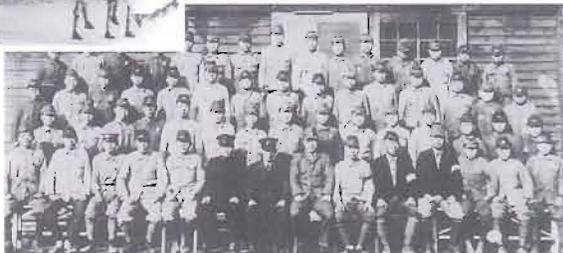


甲子園に出場した野球部(昭和8年)

### 2. 忍び寄る戦争の足音と戦禍／戦後 ～1954年



教練(学校に導入された軍事に関する科目や行事)の査閲(実地試験)(昭和14年)



光海軍工廠(勤労動員先)における53・54期生の一部。昭和20年8月14日(終戦前日)の空襲では、53期生16名が尊い命を落とした。



男女共学となった県立山口高校のクラス写真(昭和26年)



昭和27年1月22日夜の火災により、東校舎が焼失した。大きく炎上する東校舎

### 3. 新生山高

1955～1970年



山口大学文学部と交換した糸米校舎(現在の正門前)



校旗。昭和33年6月に完成した校旗は、同月30日に全校生徒に披露された



生徒会立会演説会。現在の記念館前にて(昭和39年)



校内合唱大会(昭和45年)



山口国体での山高生徒によるマスゲーム「錦帯橋」(昭和38年)



山高総体。クラス対抗リレー(昭和43年)



昭和44年完成 体育館

昭和42年完成 普通教室棟

旧本館棟

移動前の記念館

昭和43年完成 理科棟

天文トーム設置

航空写真(昭和44年) 本館棟は未着工。昭和45年に全て完成し、創立100周年を迎えた(山口県文書館所蔵)

100年

150年  
(2020年)

現在

昭和22年(1947)の教育基本法・学校教育法に基づき、新制高等学校として山口女子高等学校を含めた山口市内の3校が決定された

昭和27年(1952)1月22日夜の火災により東校舎が焼失し、山口大学文学部系米キャンパスとの校地交換が進められるとともに山口中央高等学校と分離し、山口県立山口高等学校(新生山高)となった

昭和24年(1949)の第1回高校統合により、山口県立山口東高等学校となった

山口県立  
山口東高等学校  
(昭和24年 1949)

山口県立  
山口高等学校  
(昭和25年 1950)

山口県立  
山口高等学校  
(新生山高)  
(昭和30年 1955)

理数科設置  
(昭和44年 1969)

商業科廃止  
(昭和63年 1988)

徳佐分校開校  
(平成20年 2008)

定時制設置

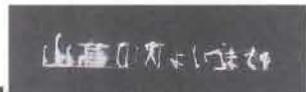
昭和25年(1950)の第2回高校統合により、山口東高等学校と山口高等女学校(明治33年)の流れをくむ山口西高等学校が統合され、山口県立山口高等学校となった



## 101年以降の記録 / 全日制(1971 ~ 2020年)



校内マラソン大会(昭和46年)  
瀬ノ峰下~赤田神社先までの往復  
男子12km、女子6kmを走っていた



文化祭前夜祭(昭和48年)

### 銀鐘祭(平成10年)



第1回  
銀鐘祭ポスター

←文化祭を銀鐘祭と改称  
旧サビエル記念聖堂が平成3→  
9年に全焼。新聖堂が平成9年に  
上棟され、鐘の祝別式が行われ  
たのが、名前の由来



建築中の新サビエル記念聖堂  
卒業アルバムより  
(平成9年)



H R棟と理科棟のあいだの中庭にステージを設置



佐藤栄作  
ノーベル平和賞の記事  
(昭和49年12月11日)  
(朝日新聞)



全国高等学校サッカー選手権大会ベスト8(昭和60年)



山高総体名物のフォークダンス(昭和47年)



最後の商業科クラス写真(昭和63年)  
商業科魂よ永遠なれ!



卒業式恒例の水かけ(平成9年)  
平成12年から廃止となる



萩往還を歩く会  
記念すべき30回目(平成26年)



ストックホルム青少年水大賞  
国際大会会場にて(平成28年)



インテル国際学生化学技術フェア(アメリカ)。英語でプレゼンテーションをする代表の3人。理数科課題研究(平成30年)



入学式  
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全員マスク着用!(令和2年)



山高総体 3年生集合写真(平成28年)

振り向けば未来!!

## 創設以来の記録 / 定時制(1949 ~ 2020年)



定時制第1回卒業生(昭和25年9月)



学びの灯(昭和46年)

『せせらぎ』創刊号  
(昭和27年7月25日)



1995年(平成7年)1月25日  
授業風景 ストーブを囲んで



1992年(平成4年)3月1日  
卒業式後の記念撮影



1974年(昭和49年)6月16日  
全国高等学校定時制通信制体育大会 山口県予選会・開会式



2002年(平成14年)9月6日  
鴻ノ峰登山



2018年(平成30年)11月16日  
文化祭 楽しく伝言ゲーム

## 創設以来の記録 / 通信制(1948 ~ 2020年)



通信制第2回入学式(昭和29年5月9日)



見島スクーリング(昭和38年)

機関紙『灯窓』創刊号  
(昭和24年11月30日)



1995年度(平成7年度)  
体育祭仮装パレード



2010年度(平成22年度)  
鴻ノ峰登山



1988年度(昭和63年度)  
卒業式



1995年度(平成7年度)  
入学式後のLHR



2012年度(平成24年度)  
生徒会リーダー研修会



2019年度(令和元年度)秋季特活  
岩国錦帯橋での記念撮影

## 創設以来の記録 / 徳佐分校(2008 ~ 2020年)



毎日新聞 平成20年4月9日朝刊



山口高徳佐分校が開校  
「伝統を守り新たな歴史を」  
1期生入学式

開校式に続いて1期生入学式  
校名札を設置する  
吉松山口高校長(左)と  
爲久徳佐高校長(右)



野球部創部以来、初めての夏大会出場辞退。これまで頑張ってきた3年生の最後の舞台を監督、OBが演出



山口新聞  
(平成26年7月27日)



新入生歓迎行事(平成23年)



少人数できめ細かな授業(平成30年)



学校祭(吹奏楽部演奏)(令和元年)



冬の徳佐分校 十種ヶ峰を臨む(平成21年)

## 山口県立山口高等学校 150周年記念

発行日 令和3年3月

発行・編集 山口県立山口高等学校創立150周年記念事業実行委員会  
(山口県山口市糸米一丁目9番1号)